

産婦人科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	妊娠高血圧腎症における尿中蛋白排泄量と母体重症度との関連
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	産科・婦人科
研究責任者	助教 齋藤拓也
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	妊娠高血圧症候群の妊婦さんにおける、蛋白尿の多寡が母体の重症度に影響するかどうか、また母体と新生児の転帰に影響するかどうかを検証することを目的としています。
対象となる患者さん	2008年4月1日～2021年9月30日までに、妊娠22週0日以降に分娩となった妊娠高血圧腎症と診断された妊婦さんと、その新生児。
研究の方法	下記の「研究に用いる資料・情報」の項で記載した項目について、対象の方の診療録よりデータ（診断週数、分娩週数、母体血圧、母体尿中蛋白、母体採血データ、出生体重、性別、Apgar 値、臍帯動脈血 pH、母体転帰、児転帰など）を抽出し、統計学的な評価を行います。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026年8月31日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：診断週数、分娩週数、母体血圧、母体尿中蛋白、母体採血データ、出生体重、性別、Apgar 値、臍帯動脈血 pH、母体転帰、児転帰など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 産科・婦人科 担当者：助教 齋藤 拓也 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22153）

